

ヘルプカードの記入例



ヘルプカードの書き方の注意点

- ◆ すべての項目に記入する必要はありません。
- ◆ 必要と思う項目のみ記入してください。

平成 28 年 6 月 1 日記入

ふりがな	まつやま たろう		
名前	松山 太郎		
住所	松山市二番町四丁目 7 番地 2		
生年月日 (年齢)	S60 年 7 月 1 日 (30 歳)	性別 男・女	血液型 A 型 Rh+

記入日欄の書き方

- ◆ このカードに記入した日付を記入してください。

名前とふりがな欄の書き方

- ◆ 氏名とふりがなを書きます。
- ◆ ふだん呼ばれている愛称やニックネームを追加してもいいでしょう。

緊急連絡先①: 松山 一郎 (父)
電話番号: 090-0000-1111
呼んでほしい人の名前: _____

緊急連絡先②: 松山 花子 (母)
電話番号: 089-000-1111
呼んでほしい人の名前: _____

緊急連絡先③: 〇〇作業所
電話番号: 089-000-222 (平日 9~17 時)
呼んでほしい人の名前: 愛媛さん

緊急連絡先欄の書き方

- ◆ 緊急連絡先を記入する場合は、相手の人に了解を得た上で記入してください。
- ◆ 本人との間柄や通じる時間も書いておくと便利です。

【私の医療情報】	
障害や病気の名称と持ちよう	視覚障害、腎臓機能障害
飲んでいる薬	〇〇/朝1錠、△△/毎食後2錠
アレルギー等	卵が食べられない
かかりつけ医療機関	機関名: 〇〇病院 (△△科) 電話番号: 089-000-3333 (主治医: 伊予 太郎)

障害や病気の名称と持ちよう欄の書き方

- ◆ 障害や病気の名前を分かりやすく書いて下さい。
- ◆ 症状の特徴などもあれば記載します。

飲んでいる薬欄の書き方

- ◆ 普段飲んでいる薬や服薬の注意点などを書いて下さい。
- ◆ 書ききれないときは、「おくすり手帳を見てください」と記入するとよいでしょう。

アレルギー等欄の書き方

- ◆ 食べられないものや接してはいけないものを書いて下さい。

かかりつけ医療機関欄の書き方

- ◆ よく通っている病院を書いて下さい。

お願いしたいこと欄の書き方

- ◆ 記載例を参考に、「困っていること」と「支援してほしいこと」を具体的に書いて下さい。

お願いしたいこと

(記載例 参照)



このカードの中に
お願いしたいことが書いてあります。

中を開いて見て下さい。

【「お願いしたいこと」の記載例】

目が不自由です。

- ▶ 何が起きているのか、教えてください。
- ▶ 移動するときに誘導してください。
- ▶ まわりの状況や掲示を教えてください。

耳が聞こえません。

- ▶ 手話が筆談で話してください。
- ▶ 私の前か横から話してください。
- ▶ 何が起きているのか、紙に書いて教えてください。
- ▶ 手話通訳が必要です。
- ▶ 要約筆記が必要です。
- ▶ 緊急連絡先に電話してください。

耳が聞こえにくいです。(補聴器使用)

- ▶ ふつうの大きさの声でゆっくりと話してください。

足が不自由です。

- ▶ 移動するときに誘導・介助をしてください。

手が不自由です。

- ▶ 代筆をお願いします。

むずかしい言葉が苦手です。

- ▶ ゆっくりと簡単な言葉で話してください。

声が出ません。

- ▶ 筆談で話してください。

大きな音が苦手です。

- ▶ 静かな場所に連れて行ってください。

体に触れられるのが苦手です。

- ▶ 体にさわらずにゆっくり、はっきりと指示してください。

文字を読むこと・書くことが苦手です。

- ▶ ゆっくりと読み上げてください。
- ▶ 代筆をお願いします。

会話が苦手です。

- ▶ コミュニケーションボード(カード)等を使ってください。
- ▶ 言葉が出るのに時間がかかります。

安全な場所に連れて行ってください。

場所・施設名 ()

てんかん発作があります。

- ▶ 発作は数分でおさまります。

_____の症状があります。

_____してください。

緊急連絡先に電話してください。

※ヘルプカードの記載内容には個人情報が含まれていますので、取扱いにはご注意ください。